

第 8 期小田原市市民活動推進委員会報告書（案）に対する意見及び対応案

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	2 頁 12 行目	「役割は増々重要」→「役割がますます重要」	○
2	2 頁 14 行目	「利用ニーズ」→「利用者ニーズ」	○
3	3 頁 4 行目	「行政による内部評価」→「行政による評価」 ※ 7 行目の表記と統一。	○
4	3 頁 23 行目	「総合的な視点」→「客観的かつ総合的な視点」	「総合的かつ客観的」
5	3 頁 26 行目	「取り組むべきこと」→「取り組むべき事項」	○
6	3 頁 26・27 行目	「UMECO のコンセプトの達成が実現する」について、他の箇所ではコンセプトと機能の両方に言及しており、実際の評価表も機能活用によりコンセプト達成を図るものとなっているので、機能の向上も加筆したほうが具体的なイメージも持ててよいと考える。合わせて、評価表の案が示せるとよい。（評価の組み立てがイメージできるようにしたい。）	【考え方】 ・コンセプト→実現する ・機能→果たす ・目標（数値）→達成する  ① 「の達成状況」を削除 ② 原案どおり ③ 「コンセプトの実現が可能になると」 ④ 「評価項目として」
7	3 頁 27 行目	「コンセプトの達成が実現するものと」→「コンセプトを達成することが可能になると」	② 原案どおり ③ 「コンセプトの実現が可能になると」 ④ 「評価項目として」
8	3 頁 27 行目	「コンセプトの達成が」→「コンセプトや中間支援機能の達成が」 ※常に 3 つのコンセプトと 6 つの機能は一对に捉えられてきたと考える。	④ 「評価項目として」
9	3 頁 28 行目	「コンセプト及び機能の達成状況」のうち、機能は達成するものではなく、活用し向上させるものなので、達成状況と一括りにせず、分けた表現がよい。	
10	3 頁 29 行目	「提出いただくべき」→「提出を求めるべき」	「第三者評価の際に提出を求めるべき」 →「第三者評価の資料として提出を求めるべき」
11	4 頁（図 1）	最下段の「報告書」が何を指すか不明確である。また、評価の流れとしては、最終的に事業に反映される PDCA のサイクルになっていくことを示し、コンセプト達成のための仕組みに見えるようにするとよい。	事業の改善につなげるよう、図を変更。
12	5 頁 10・11 行目	「一方、中間支援組織（中略）求められている。」を、もう少しわかりやすい文章に変更する。	「…他事業と連携し、団体ニーズに沿った柔軟な補助金制度…」

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
13	5頁13行目	「新たな補助金制度」の表現について、今までと全く違う新しい制度を作るよう指定管理業務で指示したというよりは、市の制度を継承しつつ、民間の発想や手法で発展させることを意図するものと考えerがどうか。「創設」は全く指定管理の発想による新制度と見え、全く手を離すように受け止められる。	「UMECOにおいて、補助金制度を実施し、」
14	5頁17～19行目	「平成31年3月末で(中略)補助金制度を創設する。」について、すでに指定管理者が決定していることから、書き方を工夫した方がよいのではないか。	「…創設することし、」で次の文とつなげる。
15	5頁(図2)	「UMECO補助制度」→「UMECO補助金制度」	○
16	6頁6行目	「補助制度」→「補助金制度」	○
17	6頁7行目	「他事業」は具体例などを説明し、具体的なイメージが持てるように記載しないとわかりにくい。	11行目～13行目に記載あり。
18	6頁21行目 (おわりに)	第二のコンセプトにも言及すべきではないか。	2段落目を、二つ目のコンセプトも入れ変更する。
19	6頁21行目 (おわりに)	全体的にもう少しふくらみをもたせたい。 例：2つ目のコンセプトに触れる必要はないか。 補助金制度の検討・実現についてはどうか。	
20	6頁29・30行目	「さらなる」という表現が続いている。	
21		字句の修正	